

富士山（須走口）山行報告書

(山域) 富士山

(コース) 須走口 5 合目～本八合目～山頂～須走口 5 合目

(日時) 7月2日(土曜日)

(天候) 曇り晴れ

(山行タイム) 須走口 6:35～六合目 7:30～本八合目 10:35～山頂 12:00～須走口 15:15

(参加者) CL:内堀(記録)・SL:小宮山・富樫・佐藤・宮城

(山行報告)

金曜日の夜、小宮山車が自宅・事務所・船橋駅でメンバーを乗せ出発する。湾岸線・首都高・東名道を進み、24:00 前のため、足柄SAで休憩をする。休憩後は一気に御殿場ICから道の駅「ふじおおやま」で、テントを張る。今日は車が多いな。途中コンビニで宴会用酒・朝食・行動食を購入した。テントの中で軽く宴会を行い、2:00 前には就寝した。

目をこすりながら 4:30 過ぎに起床して、朝食を食べ出発の準備を整えるが、霧雨から雨に本格的に変わり、テンションが下がりがズルズルしてしまう。低層雲の影響で雨が降っていて、上の雲はそんなに悪くなさそうである。とりあえず須走口 5 合目まで向かう、途中、道路が乾いてきて 5 合目に来た時には低層雲の上にあり、天気は良さそうに見える。行けそうである。山梨側は天気の良いのかな。登山準備をして茶店でシイタケ茶を御馳走になる。

重い腰を上げ出発する。直ぐに神社があり登山祈願を済ませ、登山道に入る。初めは緩い勾配が続き、気が付くと 6 合目に到着。樹林帯を歩いたせいか、風の影響はなく快調である。

6 合目から七合目に掛けて樹林帯が終わると風の影響を受け、たまに突風が吹き抜けてくる。

七合目を過ぎると突風に富士山特有の砂が混じり、砂嵐が出て来た。皮膚が出ている箇所が痛い。

トレランの方々は短パン・半袖で痛いだろうなと思った。我慢強いのかな？

七合目をクリアしてよいよ北岳を抜く 3200m 標高を抜け、本八合目に到着した。小屋があり風を遮っているため、ベンチは過ごしやすかった。上空の雲の形が目まぐるしく変わり、不気味で天候が変わるのではないかと不安になった。休憩後、一気に山頂を目指す。九合目手前で貧血に陥り、めまいがして、少し休憩後ゆっくり、歩き山頂を目指す。最後の 30 分は辛く早く終わらないかと思いながら歩き、ようやく山頂に着いたときはホットした。

記念撮影と景色を堪能した後は、一気に本八合目まで下り昼食タイムとした。ここに来ると体調も戻り、軽い高山病であったのかなと思った。

昼食後は砂走りを一気に下り始めるが、七合目を過ぎたあたりから足首を痛めた所をかばい、下山したせいか、足に負担が掛りかなり辛い状況になる。スピードが落ち迷惑を掛けるが、ドンドン引き離されながら歩くと、朝方出発した神社が見え、茶店が出た時には本日の終わりである事が判った。茶店で長い休憩を行い、御殿場の温泉会館で入浴して体に着いた砂を洗い流し、夕食を食べて帰葉した。御殿場地区は夕方も霧雨が続き一日天気の悪い状態であった様である。御殿場地区での山行判断せず、とりあえず須走口五合目まで向かったことは正解であった。天気とは女心と同じで変わり易い物だと思ったこの頃であった。





—以上—